

太宰府市短歌ボスト第百十七期入選歌

(令和五年二月二十四日)

選者 天久保富士子

都府楼に歴史を語る石碑三つ黙する礎石は傾き埋まる

佐賀県 陣内敏夫

太宰府で梅ヶ枝餅と日向ぼし流れる時間の早さゆるめ

静岡県 磯脇琴音

年をつながく太宰府の山登ったらもみじも頬も紅く染まりし

横浜市 佐藤英美

万葉の令和の花を待ちにけり小春日和に結ぶ恋文

東京都 上原悠花

おみくしの大吉当たりに木に結ぶ天満宮の良き初詣

福岡市 田中茂樹

手袋をはずして祈る世界の和道真様に笑顔奉納

太宰府市 落合三恵

もちつきのにぎわい見守る御神床その背中に慈しみ知る

神戸市 吉原千尋